

2023年4月3日  
日立造船株式会社  
今治造船株式会社

## 船用原動機事業の合併会社「日立造船マリンエンジン株式会社」が営業開始

日立造船株式会社（大阪府大阪市、取締役社長兼 CEO：三野 禎男、以下、日立造船）と今治造船株式会社（愛媛県今治市、代表取締役社長：檜垣 幸人、以下、今治造船）は、このほど、日立造船が2022年11月24日に設立した新会社に対する、日立造船の船用原動機事業（船用原動機の製造およびアフターサービス事業を対象）の吸収分割による承継および今治造船の35%の資本参加が完了し、「日立造船マリンエンジン株式会社（熊本県玉名郡長洲町、取締役社長：山口 実浩、英文商号：Hitachi Zosen Marine Engine Co., Ltd.、以下、HZME）」として、4月1日付で新体制での営業を開始しましたことをお知らせいたします。

現在、海運・造船・船用業界においては、IMO（国際海事機関）によって2018年に採択された「GHG削減戦略※」達成に向け、温室効果ガスを排出しない次世代船舶「ゼロエミッション船」に関わる技術開発が急務となっています。中でも、船舶の主機関である船用原動機の燃料を、重油からLNGやメタノール、アンモニア、水素等へと転換するための技術開発は、競争力の高い次世代船舶を海運業界に提供し、環境技術で世界をリードするために非常に重要な役割を担います。

HZMEの設立は、日立造船および今治造船双方にとって、船用原動機の安定的な供給・調達を実現し、取引強化や資材調達の最適化によるコスト低減を通じた収益性の向上を図るだけでなく、造船と船用原動機双方の知見を持ち寄り、船用原動機の燃料転換やゼロエミッション船の開発に資するものであり、日本の海運・造船業界に大きく貢献できるものです。

日立造船は、国内外の造船会社向けに累計約4,285万馬力、約2,975台となる国内トップクラスの製造実績を有し、今治造船グループは、瀬戸内を中心に国内10工場を有し、19年連続の建造量日本一位であり、世界シェアでもトップクラスの実績を有しています。

HZMEは、日立造船と今治造船両社の知見や実績を活かし、船用原動機製造の専門メーカーとして、海運・造船業界のゼロエミッションに積極的に貢献していきます。

※国際海運分野からの温室効果ガス（GHG）排出量を2050年に半減させ、今世紀中早期にゼロとすることを目指すもの。

なお、新会社の概要は次のとおりです。

|     |   |
|-----|---|
| 商号  | 日立造船マリンエンジン株式会社（英文商号：Hitachi Zosen Marine Engine Co., Ltd.、略称：HZME） |
| 代表者 | 代表取締役 取締役社長 山口 実浩   |
| 本社  | 熊本県玉名郡長洲町大字有明1番地（TEL：0968 - 78 - 2261）                              |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 事業内容            | 船用原動機の新造事業およびアフターサービス事業   |
| 資本金             | 1,750,065,000 円   |
| 株主              | 日立造船 65%、今治造船 35%<br>(今治造船は、2023 年 4 月 1 日付の HZME の第三者割当増資により資本参加)  |
| ウェブサイト<br>ロゴマーク | <a href="https://hzme.hitachizosen.co.jp/">https://hzme.hitachizosen.co.jp/</a><br><b>日立造船マリンエンジン株式会社</b> |

(終)